

2015年2月20日：足立区および足立区議会の関係者各位宛て
「日暮里・舎人ライナーで土曜・休日ダイヤの終列車時刻の繰り下げを可能にするための提案」

2015年2月20日

足立区役所 都市建設部 交通対策課
足立区議会 交通網・都市基盤整備調査特別委員会
関係者各位

半沢一宣

日暮里・舎人ライナーで土曜・休日ダイヤの終列車時刻の繰り下げを
可能にするための提案

本年1月22日に開かれた足立区議会交通網・都市基盤整備調査特別委員会で、足立区交通対策課から報告された内容を踏まえ、以下の点をご提案申し上げます。

西日暮里駅構内に軌道保守作業車用の留置線を新設する

区の交通対策課が東京都交通局へ聞き取り調査を行ってくださった結果報告によれば、東京都交通局は「軌道保守工事で使う作業車が舎人公園の車両基地から現場まで往復するのに必要な時間を差し引くと、作業現場が車両基地から最も遠い（＝往復に要する時間が最も長い）日暮里駅付近の場合は作業時間を125分程度しか確保できない、安全確保のためにはこの作業時間をこれ以上短縮することはできない」旨を回答しているとのことです。

しかし、東京都交通局のこの説明にも、おかしい点があります。

ゆりかもめでは、汐留駅の北側（新橋駅方）に保守作業車用の留置線を設置し、新橋駅付近で軌道保守工事を行う前日にあらかじめ作業車を送り込んでおくことで、保守時間を確保しています。

これと同じ方法を取ることは、日暮里・舎人ライナーでも可能だからです。

西日暮里駅の南側（日暮里駅方）で軌道が緩やかにカーブしている付近では、上り線と下り線の間が大きく離れています。

この部分には、保守作業車用の留置線を新設するのに十分な空間があります。

ですから、ここに留置線を設置すれば、例えば土曜の終電後（暦の上では日曜の未明）に作業を行う場合、

金曜の終電後に作業車を留置線へ送り込んでおく

土曜の終電後に作業を実施する

日曜の終電後に作業車を舎人公園の基地へ戻す

という方法を取れます。

この留置線を設置すれば、保守作業を行う場所が舎人公園の車両基地と日暮里駅の間地点に当たる扇大橋駅付近であったとしても、作業車の往復に必要な時間が最大でも30分程度に短縮でき、作業を行う時間を180分程度まで拡大できます（表を参照）。

これなら作業員も今までより時間に余裕を持って作業に取りかかることができるため、東京都交通局にとってもメリットが大きいと考えられます。

この留置線を新設することの可否についての説明さえしないで「これ以上の終列車の繰り下げはできない」と主張している東京都交通局の姿勢が、私には理解できないのです。

陳情者の意見

本件における最大の問題点は、東京都交通局が、日暮里・舎人ライナーの終列車の時刻

2015年2月20日：足立区および足立区議会の関係者各位宛て
「日暮里・舎人ライナーで土曜・休日ダイヤの終列車時刻の繰り下げを可能にするための提案」

の繰り下げはできないとする自らの見解を何とか正当化しようとする方向にばかり労力を費やして、何をどう工夫すれば終列車の繰り下げが可能になるかを考えようとする、建設的な努力を怠っている点にあります。

区や区議会の関係者におかれましては、東京都交通局の説明に対して「ハイそうですか」と無批判に従うのではなく、

「必要な保守間合時間を確保しながら、すなわち安全性を低下させることなく、終列車の繰り下げを可能にする方法があるではないかという指摘が沿線住民から出されているのに、なぜその指摘の当否の検証さえ行わないのか」

と、東京都交通局を突き動かす取り組みを行っていただけますよう、重ねて陳情申し上げます。

以上



【写真】西日暮里駅のホームから日暮里方の軌道を見たところ。

上り線と下り線との間には軌道保守作業車用の留置線を設置するのに十分な空間がある。

列車は下り見沼代親水公園行き。
(2015年2月18日に撮影)

2015年2月20日：足立区および足立区議会の関係者各位宛て
「日暮里・舎人ライナーで土曜・休日ダイヤの終列車時刻の繰り下げを可能にするための提案」

【参考】ゆりかもめ汐留駅構内の保守作業留置線の写真



豊洲行きの中内から撮影。奥が汐留駅。



汐留駅のホームから撮影。列車は新橋行き。

2015年2月20日：足立区および足立区議会の関係者各位宛て
「日暮里・舎人ライナーで土曜・休日ダイヤの終列車時刻の繰り下げを可能にするための提案」

【表】土曜・休日の終列車後に軌道保守作業を行う場合のタイムスケジュール

東京都交通局の説明（注1）		半沢の提案（注2）	
時刻	作業内容	時刻	時刻
0:00	終列車が日暮里駅を発車	0:15	終列車が日暮里駅を発車
0:20	終列車が見沼代親水公園駅に到着	0:35	終列車が見沼代親水公園駅に到着
	舎人公園車両基地内入出庫点検線到着		舎人公園車両基地内入出庫点検線到着
0:40	営業線き電停止 き電 = 送電 車両点検（車内清掃・点検、異常修理等） 終了後に留置線移動完了	0:55	営業線き電停止 点検（車内清掃・点検、異常修理等）終了 留置線移動完了
1:20	車庫線き電停止	1:00	モーターカー（保守作業車）留置線出発
1:25	モーターカー車庫出発		
1:55	日暮里駅付近到着・作業開始 ・走行路の保守・点検作業 ・電気設備・信号保安設備等の保守点検作業 実作業時間帯（125分間）	1:15	扇大橋駅付近到着・作業開始 実作業時間帯（180分間）
4:00	モーターカー日暮里駅付近出発	4:15	モーターカー扇大橋駅付近出発
4:30	モーターカー車庫入庫完了	4:30	モーターカー留置線収容完了
4:40	車庫・営業線き電開始 車庫から始発列車の出発	4:40	車庫・営業線き電開始 車庫から始発列車の出発
5:13	見沼代親水公園駅始発	5:13	見沼代親水公園駅始発

- 注1 2015年1月22日（木曜日）に開かれた足立区議会交通網・都市基盤整備調査特別委員会で配布された報告資料から転載。
保守作業車用の留置線が沿線のどこにも無い現状では、作業車は舎人公園の車両基地から出動する。本表では舎人公園の車両基地から最も遠い、日暮里駅付近で保守作業を行う際のモーターカーの往復所要時間を考慮したタイムスケジュールを記載している。
- 注2 西日暮里駅ホームの日暮里方の上下線の間保守作業車用の留置線を新設し、ここから作業車を出動させる場合のタイムスケジュールを、筆者がシミュレーションしたもの。この場合、モーターカーの往復所要時間が最も長くなるのは、舎人公園の車両基地と西日暮里駅との中間に当たる扇大橋駅付近で保守作業を行うときである。